

## 特別天体観望会「金環日食」と「金星の太陽面通過」

今年度は、5月21日(月)と6月6日(水)に、立て続けになります。特別天体観望会を開催します。特別天体観望会では、普段の市民天体観望会と違って、申し込みが不要で、開催時間内であれば、いつでも自由に観察に参加していただけます。

5月21日(月)の観察テーマは、「金環日食」です。金環日食という現象については、今月の「うちゅう」の他のページにもたくさん記事がありますが、なんといっても、「実際に見る」ことが意義深い現象です。

日食メガネ等をお持ちであれば、あえて月曜日の朝早い時間に科学館に来なくても、十分観察は可能ですが、科学館の観望会では、プロジェクターを使って太陽の像を映し出しますので、たくさんの人と一緒に観望することができます。お時間のある方は、ご参加ください。

観望会の時間は、7:00~8:00です。また、当日は、科学館は休館日です。館内の見学はできません。

6月6日(水)の観察テーマは、「金星の太陽面通過」です。この現象は、金星が太陽の手前を通過していく現象です。現象自体は、朝の7:10から昼の13:47分まで、かなり時間のかかる現象です。金星が太陽のふちに近づいてくると、金星の動きが実感しやすくなるでしょう。

金星の太陽面通過は、日食メガネを使えば、望遠鏡が無くても、金星の小さな姿を見つけることが可能です。ですので、あえて平日の昼間に科学館に来なくても、観望することはできますが、科学館では望遠鏡を用意して、太陽の像を投影して観望しますので、日食メガネで見るよりも金星のまん丸な姿が分かりやすくなります。こちらもお時間のある方は、是非ご参加ください。

観望会の時間は、12:00から13:50です。当日は科学館は開館しておりますので、館内の見学もできます。

どちらの観望会も、雨が降ったら中止いたします。お天気が不安なときには、科学館のホームページなどで、状況を確認してからお出かけ下さい。また、日食メガネをお持ちの方は、是非ご持参ください。

当日の晴天を期待しましょう!

飯山 青海(科学館学芸員)